

取扱説明書

S K－9 2 0用小幅H鋼アタッチメント (100 ミリ・125 ミリ兼用)

このたびは、＜S K－9 2 0用小幅H鋼アタッチメント＞をお買い上げいただきありがとうございます。

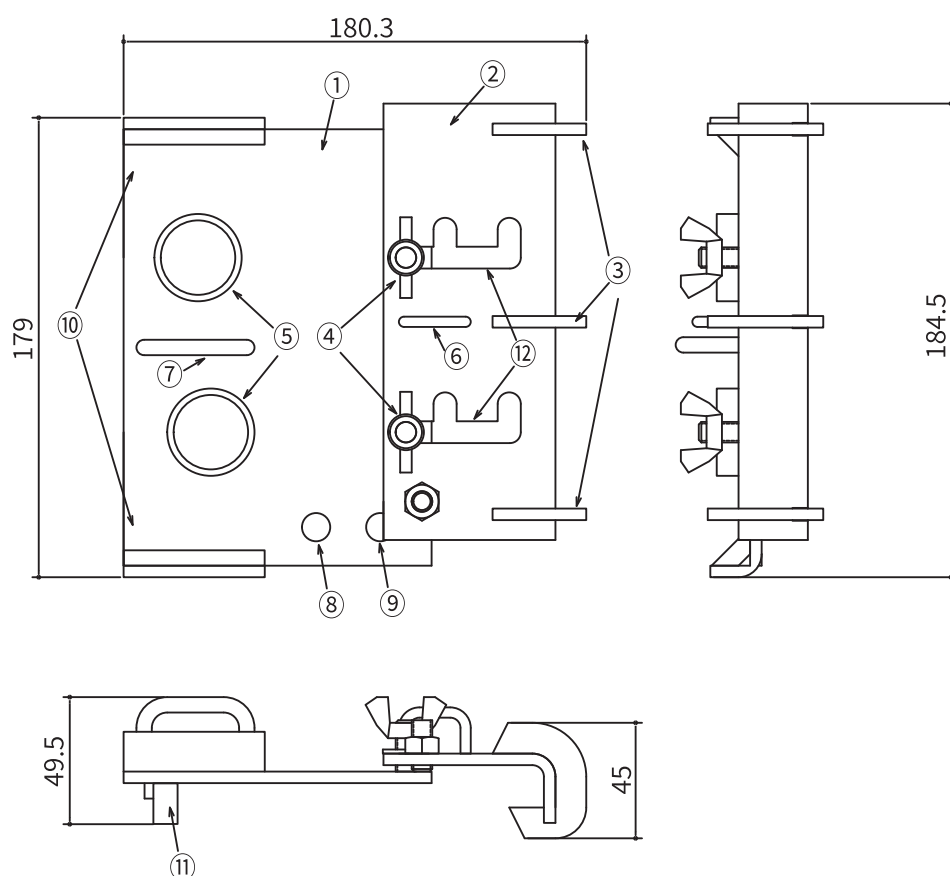
本品は、弊社商品の親綱支柱S K－9 2 0(F・P兼用)を100ミリまたは125ミリのH鋼に取付可能にするための取付アタッチメントです。

本品を安全に使用していただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

1. 用途

弊社商品の親綱支柱(S K－9 2 0 F・S K－9 2 0 P)を100ミリのH鋼、または125ミリのH鋼に装着するための製品になります。

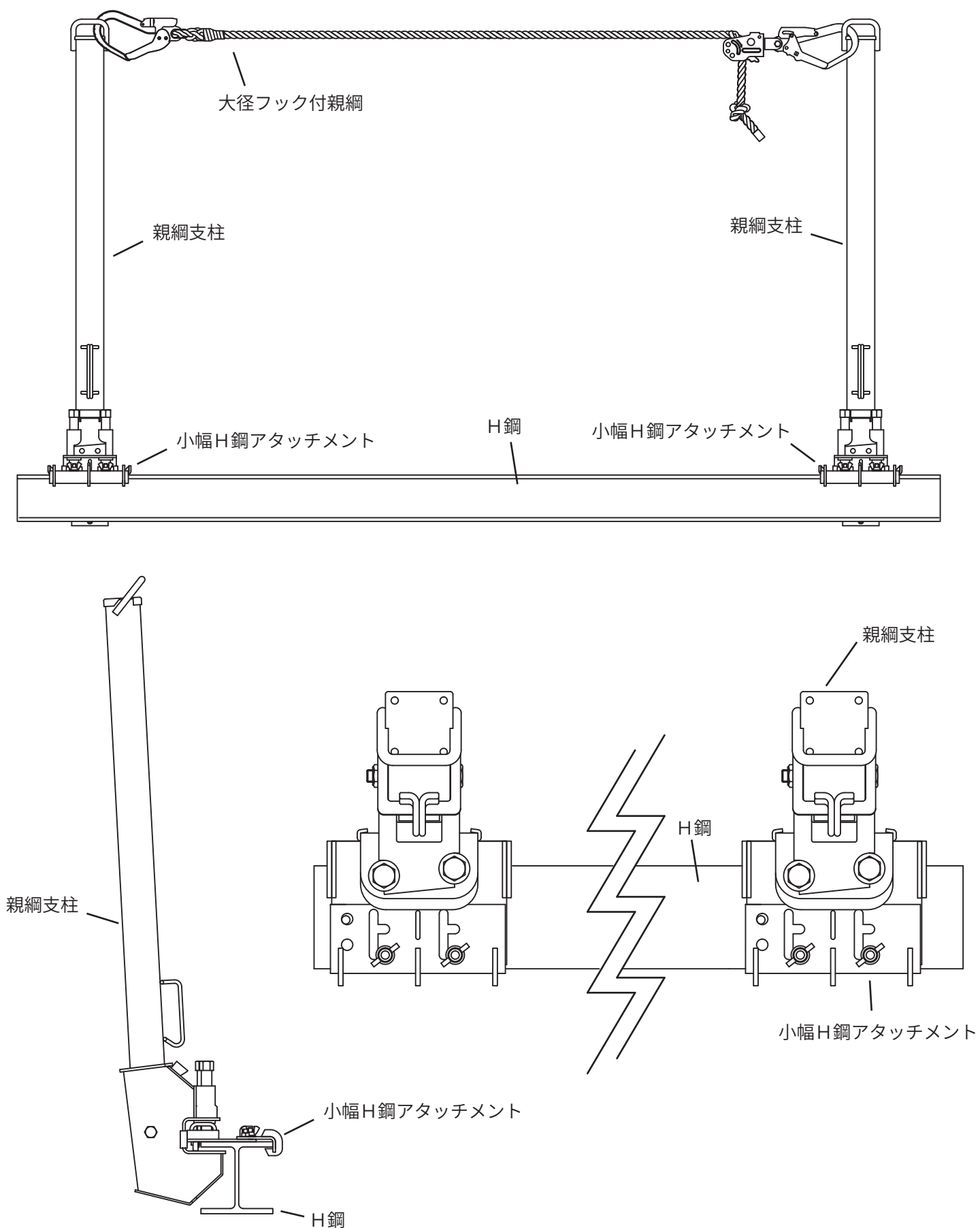
2. 構造及び各部の名前



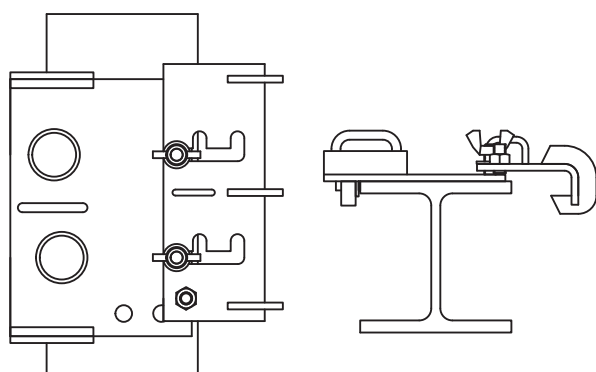
No.	名称
①	固定板
②	調整板
③	長さ調整板爪
④	蝶ナット
⑤	支柱ボルト固定リング
⑥	調整板取手
⑦	固定板取手
⑧	位置決め穴H100
⑨	位置決め穴H125
⑩	補強板
⑪	H鋼ストッパー板
⑫	調整溝

3. 使用例と使用方法

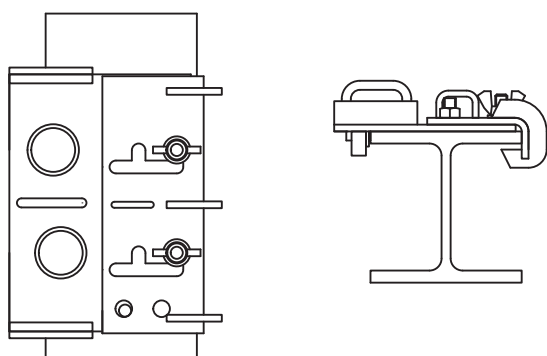
□親綱を張った状態(支柱2本)で上から見た図と横から見た図



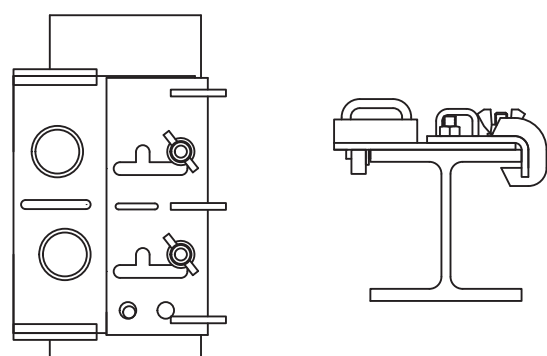
□100ミリH鋼取付方法



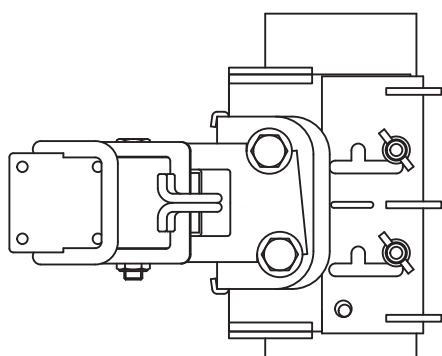
①100ミリH鋼にアタッチメントを載せます



②取手を使いアタッチメントをH鋼に挟みます
挟む際には位置決め用ボルトが動かないように
固定溝に入れます

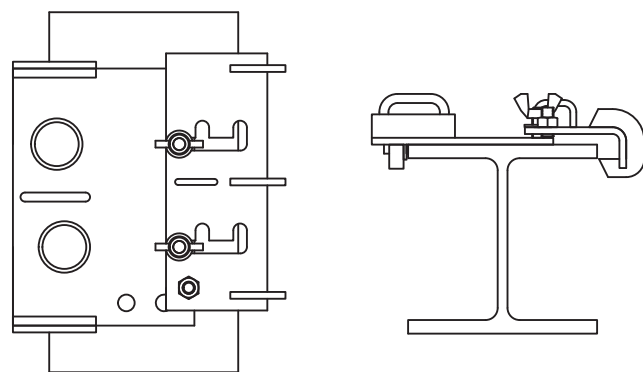


③蝶ナットをしっかりと締めて固定します。

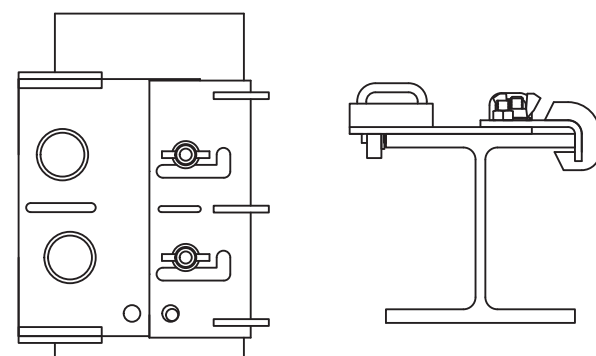


④取付ボルト固定リングに支柱の取付ボルトを
装着して固定します。

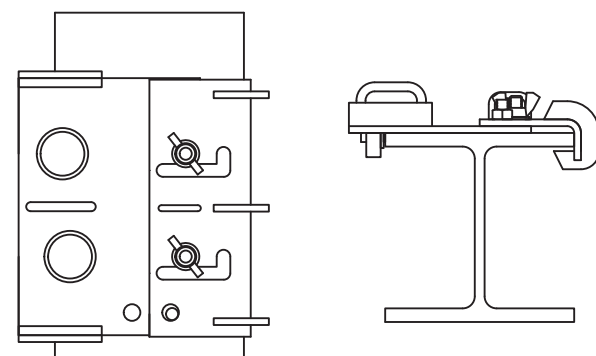
□125ミリH鋼取付方法



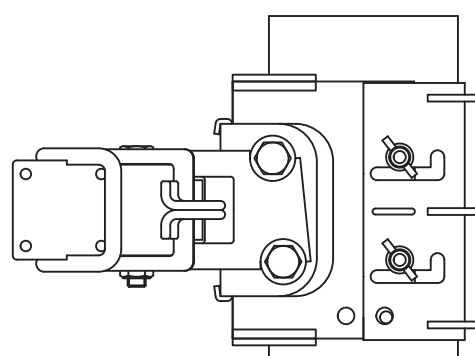
①125ミリH鋼にアタッチメントを載せます



②取手を使いアタッチメントをH鋼に挟みます
挟む際には位置決め用ボルトが動かないように
固定溝に入れます



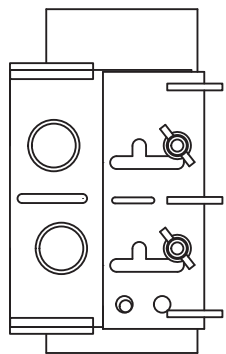
③蝶ナットをしっかりと締めて固定します。



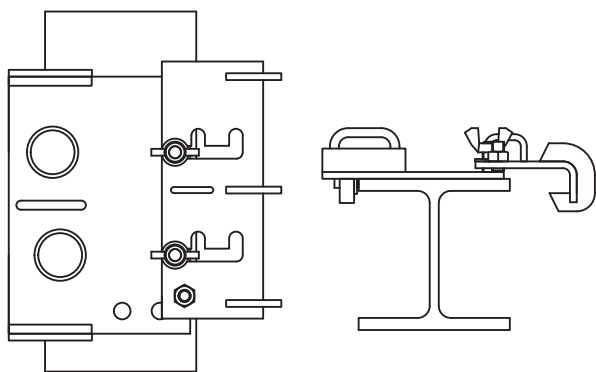
④取付ボルト固定リングに支柱の取付ボルトを
装着して固定します。

- アタッチメントを装着する際、100ミリ・125ミリそれぞれに対応しておりますので蝶ナットを緩め取手を上に持ち上げ100ミリ・125ミリの固定位置に合わせセットし蝶ナットをしっかりと絞め込んでください。
- アタッチメントを私用して親綱支柱を設置する際、連続使用はできませんので2本で親綱を張り設置してください。また、アタッチメントを使用した場合、直交方向には使用できません。その他は親綱支柱の設置方法に準じてください。

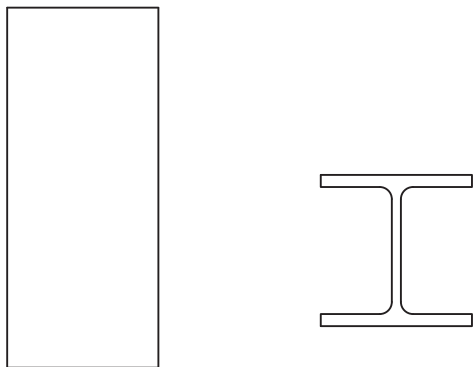
□100ミリH鋼取外し方法



①支柱の取付ボルトを緩めて支柱を外します。

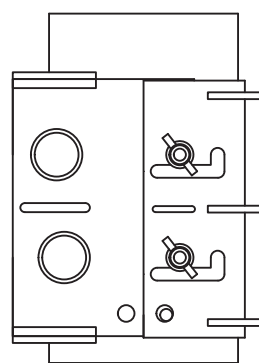


②蝶ナットを緩め、調整板取手を使って調整板を外します。

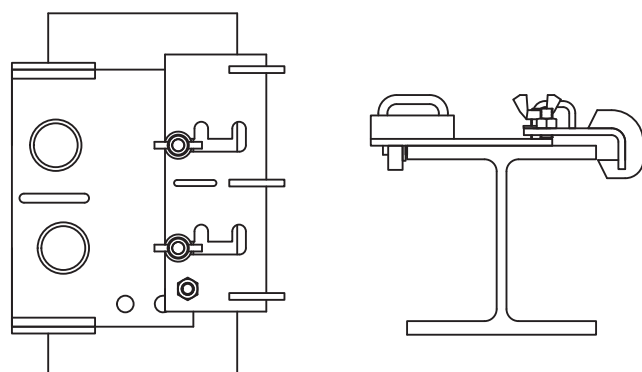


③小幅H鋼アタッチメントをH鋼から取り外します。

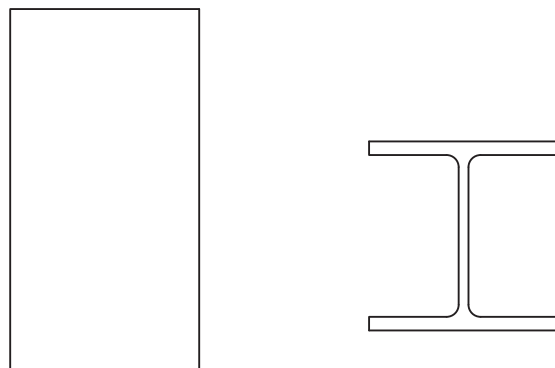
□125ミリH鋼取外し方法



①支柱の取付ボルトを緩めて支柱を外します。



②蝶ナットを緩め、調整板取手を使って調整板を外します。



③小幅H鋼アタッチメントをH鋼から取り外します。

4. 使用上の注意事項

危険

- 100 ミリ・125 ミリのH鋼に装着してください。それ以外のH鋼に装着しないでください。
 - 100 ミリ・125 ミリのH鋼でも親綱支柱 (S K-920) が装着できない (高さ 100 ミリ以下) のH鋼には装着できません。
 - 100 ミリまたは 125 ミリにアタッチメントを調節した後、蝶ナットをしっかりと緩まないように絞め込んでください。
 - 親綱支柱を設置する方向は平行方向のみです。直交方向には設置しないでください。
 - アタッチメントを使用して親綱支柱を設置した場合、連続使用はできませんので必ず親綱支柱を 2 本設置して親綱 1 本を張って使用してください。
 - 1 スパン (1 本の親綱) 作業者は 1 人で使用してください。
 - アタッチメント設置間隔は 10m 以下で設置してください。
 - 支柱間の取付スパンにより転落時の落下距離も変化します。次式より算出した値以下にしてください。
取付スパン=40/11(衝突の恐れのある床面又は設備等の垂直距離-4)[m]
- 【解説】
- 垂直距離が算出した値を確保できない場合は、「墜落防止用器具の安全な使用に関するガイドライン」(厚生労働省 2018/06/22 公表)において親綱を低い位置に設置する場合について記述された「作業所の構造上低い位置に親綱を設置する場合には、低いランヤード又はロック機能付き巻取り式ランヤードを用いる等、落下距離を小さくする措置を講じること。」に準じること。
- 本取扱説明書に記載している<1. 用途>以外の使用方法は絶対にしないでください。
 - その他の設置方法は親綱支柱の取扱説明書に準じてください。

警告

- アタッチメントを設置する場合、できるだけ地上で設置してください。高所で設置する場合は十分気を付けて本体を落下させないようにしてください。
- 本体を改造しないでください。

5. 点検と検収基準

始業点検 : 使用する人が作業前に毎回行ってください。

定期点検 : 使用する人もしくは管理者によって1ヵ月ごとに行ってください。

異常時点検 : 作業中異常を感じたら直ちに作業を中止し、再点検を行ってください。

検収基準

整備項目	●本体に附着した附着物はワイヤーブラシ、布きれ等で除去する。 ●本体可動部の作動確認 (蝶ナット 2 ヶ所の絞め込み状況も含めて)
廃棄項目	●本体の潰れ、変形したもの、亀裂のあるもの。 ●溶接や加工など、改造したもの。 ●本体に付着したコンクリートや塗料が除去できず作動がわるくなっているもの。 ●蝶ナットやボルトが潰れて動かないもの絞め込むことが出来ないもの。 ●親綱支柱のボルト固定位置 (リング状の中) が著しく磨耗削れているもの ●異常な負荷がかかったもの、落下事故のあったもの。

6. 交換のめやす

使用方法によって異なりますが、交換のめやすとしては、始業点検、定期点検を行い廃棄項目にあたるものはすべて新品と取り換えてください。

この説明書の内容につきまして、ご不明の点がありましたら、下記に御連絡ください。

発売元



中央労働災害防止協会・建設業労働災害防止協会・仮設工業会・賛助会員



セイコー機器株式会社

〒173-0011 東京都板橋区双葉町 33-15 TEL03-3964-4150 (代) FAX03-3963-8193

<https://seikokiki.co.jp>

E-mail: support@seikokiki.co.jp

製造元

江戸川機鋼株式会社